

今回の座談会の主旨

目的:

野口 正一

沈みゆく日本、
再生のための新しい戦略を！

日本の現状

1989年国際的競争力1位の日本が、
2019年には**30位**に後退、
そのトレンドは今も続いている。



戦略の指針

- 徹底した新しい地域創出のプログラムの構築
- 地域から日本を牽引する
- 地域の若い、優秀な人材の高度活用



仙台市のVision

仙台市の実行プログラムが地域創出の
“さきがけ”となること

仙台モデルの構築

仙台が活用できる資源

- (1) 東北大学及び地域大学の持つ、高度の知的資源
と人材
- (2) 仙台が持つ東北6県との強力な人的、物理的
ネットワーク
- (3) 次世代放射光施設の活用



資源を活用し、成長戦略を構築するために必要な資源

- (1) 先進的な企業を立ち上げる人材の集団
- (2) 各企業を支える優秀なCTO、CFO、CMO の人材
- (3) Risk Moneyの提供者
- (4) 産学官金の強力なサポート

想定される効果

(1) 21世紀型産業群の集積

(2) 現状を変える経済効果

仙台市のGDPを3～5年の間に3%増加
(150億円)

(3) 仙台市の本格的国際都市への移行



早急に行うべきは具体的なProjectの実行

- (1) 高度先端技術開発の研究所、開発センター等の
設立
- (2) (1)を支えるMarketing, Financeの機能を持つ
事業会社の設立



仙台市Projectの一つの目標

次世代放射光施設の活用をベースに、

仙台に日本の中心となる

高度な巨大データベース活用の

新ビジネス群の構築

